

大学の秋入学に大賛成する

— CRT「開倫塾の時間」26年目(第1301回)を迎えて—

開倫塾

塾長 林 明夫

1. はじめに

(1)おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。

(2)この「開倫塾の時間」は、実は今日が26年目の最初の回です。この2月までで丸25年ですから52回×25年で、25年間で1300回お話をさせていただきました。今日は1301回目の放送ということになります。本当に長い間聴いていただき、ありがとうございます。当面はあと200回の1500回を目標に、視聴者の皆様にとってためになる有益な内容を目指したく存じます。どうかよろしくお願いいたします。

2. 大学の秋入学に大賛成する

(1)さて、読売新聞の栃木版に「とちぎ寸言」というコラムがあります。今日は、そこに今週の水曜日に私が書かせていただいた内容について少し説明をさせていただきます。中身は今話題になっている大学の秋入学についてです。

(2)東京大学が秋入学を発表し、多くの大学がこれに追随しようとしています。なぜ東京大学が秋入学の導入を考えているかといいますと、海外からの優秀な学生を獲得して、大学としての国際競争力を強めたい。これが理由の1つです。海外の大学はほとんどが秋入学ですので、春に学生を入学させるという制度では優秀な海外からの学生をなかなか獲得することができません。そこで、秋にも入学を実施して優秀な学生にどんどん入っていただくというのが、秋入学です。東京工業大学大学院をはじめ色々な大学院では秋入学をすでにやっていますが、大学院生だけでなく学部生からも秋に入学させようということだと思えます。これは素晴らしい取り組みだと思います。また、海外から優秀な大学の先生を採用するのも秋入学は適切です。4月から新学期を始めたのでは、海外から優秀な大学の先生を採用することは難しい。大学の学長や学部長など大学の経営者を採用するのも4月よりは秋からのほうが有利です。国際的な学会や研究会も6月末から7月にかけて世界中で開催されますが、4月から新年度が始まると6月末や7月はまだ前期の授業をしていますので、日本の大学の先生は海外に出掛けるのが困難です。そのために、国際的な競争の中で研鑽を積むことが難しいといえます。

- (3) 私は、これ以外の理由でも秋入学に大賛成です。どうしてかといいますと、高校を卒業して大学・短大・専門学校などの高等教育機関に進学する方は、現在は 8 割以上にのぼります。場所によっては 9 割を超えようとしているところもあります。言いにくいのですが、このような方たちの中には高校時代にあまり勉強をしなかった方がたくさんいます。また、勉強はしても受験科目しかやらなかった方もたくさんいます。入学試験に受かりさえすればよいという考えのもとで必要な科目しか勉強しなかった方、言いにくいのですが推薦入学や OA 入試などであまり勉強しないで大学に入った方、もっと言えばほとんど勉強しないで大学に入った方が山ほどいます。
- (4) しかし、基礎となる中学校や高校の勉強をしなくて大学などに入学しますと、大学の授業についていけません。以前と異なって、大学は今、非常に厳格な評価をしますのでついていけません。そうすると、せっかく大学に入学しても留年をしたり退学になったりする原因にもなりかねません。留年を 2 回すると退学になる大学はたくさんあります。何とか大学を卒業しても、学力不足のままでは就職が難しいという現実が待っています。
- (5) ただよく考えれば、早い方は高校 3 年生の 9 月頃には入学が決まってしまうのです。その方は秋入学であればもう 1 年ぐらありますので、その 1 年間に不足している中学校や高校の勉強を十分にすることはどうかと私は思います。また、3 月に入学が決まった方も秋入学まで半年ありますので、その半年間に不足している中学校や高校の勉強を十分に行ったらどうかと私は思います。
- (6) 一方で、中高年の方を中心に中学校や高校の勉強をもう一度したいと考えている方がたくさんいます。私も中学校や高校の勉強をもう一度したいと心から思っています。特に古典を勉強したいと思います。例えば、栃木県や群馬県・茨城県にも大学や短期大学、専門学校がたくさんありますので、できれば中学校や高校とよく連携をしてコミュニティ・カレッジなどを設立していただき、学力不足の高校卒業生と中学校や高校の勉強をもう一回やり直したい中高年の社会人の双方のために学習の機会を提供していただければ有り難いと思います。
- (7) 極端な言い方ですが、最近は勉強が足りない大学生のことを「ノー・スタディ・キッズ」と呼ぶ方がいます。ノー・スタディ・キッズ、つまり中学校や高校の勉強をあまりしないで大学に入ってしまった大学生に対して果たして大学の授業が成立するののかというテーマが、日本リメディアル教育学会(私もその会員です)でまじめに論じられているほど、大学生の学力不足は深刻です。
- (8) ですから、中学 3 年生の受験生の皆さんや高校生の皆さんは、高等学校に行って何を学ぶのか、何のために高校に進学したのか、高校卒業後はどのような進路をとりたいのか、社会に出て何がしたいのか、最終的にはどのような人生を歩みたいのかなどについて、自分の力で真剣に考えていただきたいと思います。また、高校もどこどこに何名受かったからいいという大学の合格実績だけでなく、高校を卒業するまでにうちの学校で何をどのように学ばせたらいいのかを真正面から真剣に考えていただきたいと思います。私の希望は、高校 3 年生の 3 月 31 日まで高校生は全部の教科をしっかりと勉強して、自分の力で自分の未来を切り開いていただきたいということです。高校も 3 年生に 3 月 31 日まできちんと教えてあげて高校としての責任を果たしていただきたいと希望します。このようなことを 2 月 29 日(水)の読売新聞の栃木版に書かせていただきました。

3. おわりに

小学校の勉強も中学校の勉強も役に立ちますが、実際に社会が非常に複雑になってきていますので、高校の時の勉強ほど役に立つものはない、尊いものはないと私は思います。ですから、私は、高校生にはすべての科目をしっかりと勉強していただきたい、そして社会に出ても大学・短大・専門学校などの上の学校に進学をしてもしっかりと勉強していただきたいと思います。秋入学までの1年間あるいは半年間はそのために足りない高校での勉強をするのに非常によい期間ですので、しっかりと勉強して秋入学をしていただきたいと思います。私は、秋入学に大賛成です。

— 2012年10月14日林明夫記—